

## 平成30年度 第1回 宇部市地域自立支援協議会 会議録

日 時:平成 30 年 7 月 26 日(木) 18:00～19:30

場 所:宇部市多世代ふれあいセンター 3階 第3講座室

欠席者:江藤委員、枝村委員、古谷委員、藤本委員、各務委員

出席者:別紙委員名簿の 13 委員

市 健康福祉部 中野部長、佐々木参事

障害福祉課 藤原課長、石津主幹、井上副課長、中村係長、深津係長、松井主任、  
山本主任

地域福祉・指導監査課 齊藤主幹、梶山福祉総合相談センター長

宇部市社会福祉協議会 地域福祉課 辻村課長

(傍聴者):なし

### 1 宇部市地域自立支援協議会委員委嘱状交付

### 2 宇部市地域自立支援協議会について

事務局から、設置の目的及び協議内容について説明

### 3 宇部市地域自立支援協議会 会長及び副会長の選出について

委員から、事務局一任との意見により、「会長 土屋委員、副会長 溝田委員」を事務局から提案し、全会一致により承認される。

### 4 報告

#### (1) 平成 29 年度実績報告

・相談支援事業の実績報告(資料 1-1)

(事務局)別添(資料 1-1)に沿って相談支援事業の実績報告の説明

・障害者虐待防止法における相談件数等の報告(資料 1-2)

(事務局)別添(資料 1-2)に沿って障害者虐待防止法における相談件数等の報告の説明

・「第 4 期宇部市障害福祉サービス計画(障害福祉計画)」に係る実績報告(資料 1-3)

(事務局)別添(資料 1-3)に沿って「第 4 期宇部市障害福祉サービス計画(障害福祉計画)」  
に係る実績報告の説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

#### ■質疑応答等

●同行援護を利用し、障害者の社会参加推進を進めている。利用を希望する障害者は増えていくが、同行援護の事業所が減っている。市が同行援護の支給認定をしているので、事業所とうまく対応してほしい。

(事務局)コミュニケーション支援の人材育成として同行援護者が必要な資格を取得するための費用について助成をしているので、みなさんや事業所にも情報を広めていただいて一体となって有資格者を増やしていきたい。

## (2) 障がい等地域支援ブロック会議等の報告(資料2)

(事務局)別添(資料2)に沿って障がい等地域支援ブロック会議等の報告の説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

### ■質疑応答等

●障害者本人だけでなく障害者を含めた世帯全員として地域の課題が多い。

●地域移行を進めているが、引き受ける事業所が少なく、また、病院や病院のスタッフによって、障害者理解のばらつきが大きい。

●障害者の高齢化が進んでおり、介護保険への移行など、なかなか高齢者のサービス事業所で障害者について理解が進んでいないなどの問題がある。

●宇部市には、たくさんのA型やB型の就労事業所があり、それぞれ特徴があるが障害者本人とのマッチングが難しいときがある。相談事業所と連携が取れないという指摘があるので解決していきたい。

## 5 議事

### (1) 平成30年度事業について

#### ① 宇部・小野田圏域障害者相談支援事業の見直し(資料3)

(事務局)別添(資料3)に沿って宇部市・小野田圏域障害者相談支援事業の見直しの説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

### ■質疑応答等

●資料1の内容になるが、障害者やその家族と話す中で相談員が少ないのではないかという話になった。相談員が何人いて、どのくらいの人数の障害者を担当しているのか。

(事務局)今、正確な数字は手元にありませんが、特定相談事業所が13事業所あり、1人の相談員が40人まで担当することができます。一般相談については、ふなきさんがいらっしゃるのでふなきさんに聞いた方がよくわかるのではないのでしょうか。

●ふなきを含め、いくつかの事業所が一般相談の登録をしているが、実際に引き受ける事業所は少なく、実績もほとんどふなきとなっている。もっと実施できる事業所を増やさないといけない。

(事務局)圏域障害者相談支援事業の見直しになります。圏域相談として一般の生活相談があり、話をする中でサービスの利用の相談になった場合は、圏域相談の実績としてカウントしていません。また、特定事業所の相談員は25～30人くらいいます。10月以降、相談員が2、3人増えるという話を聞いている。

(会長)事務局案に異議などはないとしてよいか。

(委員)異議なし。

## ② 地域生活支援拠点等の整備について(資料4)

(事務局)別添(資料4)に沿って地域生活支援拠点等の整備の説明

地域生活支援拠点等が整備されたという承認をお願いします。

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

### ■質疑応答等

●総合支援学校の保護者としては、まずは目の前の進路、親亡き後に興味を持っている。こういった体制があるということを保護者の方へ伝えていきたい。

●宇部市内の就労系の事業所による就労支援ネットワーク会議があり、横のつながりができていて、県内でも珍しい。就労移行支援事業所については定員割れが続いており、いかに移行支援というシステムを使いながら就労を支援していくかという議論をしている。

(会長)達成されているとして承認してよいか。

(委員)異議なし。

## ③ ヘルプカードについて(資料5)

(事務局)別添(資料5)に沿ってヘルプカードの説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

### ■質疑応答等

●個人情報を入力することになるのでカードを落としたときは大変だと思う。援助の中身だけ書けばよいのではないか。障害のある人だけヘルプカードを知っていても意味がない。市民の人に知ってもらう必要がある。

●黄や赤色のハンカチを持っていると援助を求めているという方がわかりやすいのではないか。民生委員としては、地域で活動する上でヘルプカードを持っているという情報を伝えて欲しいが、伝えて欲しくないような、いいような悪いようなところがある。

(事務局) 記載内容が詳しすぎるということですが、個人情報をごくまで書くか書かないかは本人の判断になるので、記入欄を増やした。みなさんが知らないという意味がありませんので、市民への周知は進めていきたい。多くの人が入り出るスーパーなどでもPRしていきたい。

●総合支援学校の生徒が学校名を書くとしたら④欄に書くことになると思うが、保護者によってはどこに書けばよいのかという質問されると思う。学校名を書くということがいいかどうかは判断が難しい。個人情報を書くことはいい面と悪い面がある。

(会長) 学校名を書くことも個人情報になるので、個人の判断になるのではないかな。

## 6 その他

### (1) コミュニケーション支援人材育成助成事業について (資料6)

(事務局) 別添(資料6)に沿ってコミュニケーション支援人材育成助成事業と宇部志立市民大学の説明

(会長) 説明についてのご意見、ご質問はありますか。

#### ■質疑応答等

(会長) コミュニケーション支援人材を育成することは企業イメージとしてどうでしょうか。

●ハローワークでも週1回手話通訳者に来てもらって手話通訳をしてもらっている。

●こういった会議は初めてなのでいろいろと勉強させてもらっている。なるべく子供の内からいろいろなことを教えていきたい。